

最賃全国平均1004円に

地方答申出そろう 24県で1〜8円上積み

1500円以上実現へ
全労連取り組み

地域別最低賃金(時給)

改定について18日、すべての都道府県の地方最低賃金審議会で答申が出そろいました。全国加重平均で43円増、現行の961円から1004円となります。昨年

府県) 40円、Cランク(13県) 39円で平均41円増と示したことに對し、低額地域を中心に24県で1〜8円の上積みを実施。昨年の22道だけの岸田政権の目標にノックアウトを突き付けた形です。

以上の地域で上積みを図られました。地域間格差を1円拡大させる結果となったため、異議申し立ての審議が注目されます。10月から順次適用されます。

↓関連の面

最高額は東京の1113円。最下位は目安とおり答申した岩手の893円。地域間格差は1円拡大の220円となります。地域間格差解消を地域の上積みの努力に丸投げする目安制度の限界を示しています。

中央最賃審議会が改定の目安をAランク(6都府県) 41円、Bランク(28道

全労連などは、全国一律制への法改正、1500円以上の実現を掲げ、物価高

騰から生活を守るため、さ 各地で異議申し立てに取り
らなる大幅上積みを求めて 組んでいます。

最賃地方答申

各地で積極上積み

今年地域別最低賃金 議会の答申となりまし
改定は、人口を加味した。昨年を上回る24県で
全国加盟平均で33円増、1~8円の上積みを実現
現行の961円から1000円に引き上げた。物価高
0.4円となる地方議員審 問格差拡大となりまし
地域間格差を2~1円と

最低賃金の答申額(時給・円)					
ランク (目安)	都道府県	答申額	現行額	引き上げ (上積み)	
A (41)	東京	1113	1072	41	
	神奈川	1112	1071	41	
	大阪	1064	1023	41	
	埼玉	1028	987	41	
	愛知	1027	986	41	
	千葉	1026	984	42(1)	
	京都	1008	968	40	
	兵庫	1001	960	41(1)	
B (40)	静岡	984	944	40	
	三重	973	933	40	
	広島	970	930	40	
	滋賀	967	927	40	
	北海道	960	920	40	
	栃木	954	913	41(1)	
	茨城	953	911	42(2)	
	岐阜	950	910	40	
	長野	948	908	40	
	富山	948	908	40	
	福岡	941	900	41(1)	
	山梨	938	898	40	
	奈良	936	896	40	
	群馬	935	895	40	
	石川	933	891	42(2)	
	岡山	932	892	40	
	新潟	931	890	41(1)	
	福井	931	888	43(3)	
	和歌山	929	889	40	
	山口	928	888	40	
	宮城	923	883	40	
	香川	918	878	40	
	C (39)	鳥取	904	857	47(7)
		福島	900	858	42(2)
愛媛		897	853	44(4)	
徳島		896	855	41(1)	
山形		900	854	46(7)	
鳥取		900	854	46(7)	
佐賀		900	853	47(8)	
大分		899	854	45(6)	
青森		898	853	45(6)	
長崎		898	853	45(6)	
熊本		898	853	45(6)	
秋田		897	853	44(5)	
高知	897	853	44(5)		
富山	897	853	44(5)		
鹿児島	897	853	44(5)		
沖縄	896	853	43(4)		
岩手	893	854	39		

全労連が署名・行動

2円拡大させるものでし
た。単田政権が目標を平
均1000円と示し、
金額差の拡大を容認した
ことに沿ったものです。
これに対し、全労連の
地方組織は、街頭宣伝や
審議会の質問陳述、署名
提出などで大幅上積み
求めました。

鳥取では、鳥取ローカ
ルユニオンの組合員が、
最賃ギリギリで3人の子
どもを育てる女性の生活
実態を陳述。目安から7
円上積みした46円増、9
00円の答申にましまし
ました。

鳥取では、鳥取ローカ
ルユニオンの組合員が、
最賃ギリギリで3人の子
どもを育てる女性の生活
実態を陳述。目安から7
円上積みした46円増、9
00円の答申にましまし
ました。

鳥取では、鳥取ローカ
ルユニオンの組合員が、
最賃ギリギリで3人の子
どもを育てる女性の生活
実態を陳述。目安から7
円上積みした46円増、9
00円の答申にましまし
ました。

審議会の答申は、
4円上積みした沖繩で
は、使用者側からも「沖
繩は全国より消費者物価
が高い。生活する側から
考えれば、決して高い額
ではない」という指摘が
ありました。

中小企業支援の拡充を
求める声も広がり、青
森、愛知など初めて答
申に要望が記載されまし
た。愛知の審議会会長は、
「労働者側からコメント
はなかったが、(愛知労連
の) 愛知労働者を踏ま
えた」と発言しました。

一方、埼玉では、労働
者側反対の目安に上
積みゼロの30円増にとど
めました。このため格差
縮小は実現せず、埼玉は
沖繩から3円引き離され
た単独最下位に陥ってい
ます。

いわて労連の中村健雄
氏も「物価高騰対
策や格差是正が求められ
ているのに、中央の目安
どおりでは、審議会の役
割を果たしていない」と
批判。審議会への異議申
し立てや労働局前行動を
予定しています。

単田政権の姿勢は、最
賃近傍の労働者の生活改
善や地域間格差の是正を
考慮しておらず、足かせ
となりました。地域間格
差を広げる目安制度は限
界です。

全労連の最低生計調査
では、全国どこでも時
給1500円以上が必要
です。最賃を全国一律制
にあらため、中小企業支
援とセットで1600円
を実現することが求めら
れます。(田代正則)